

新ましこ未来計画及び益子町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について 第4版

新ましこ未来計画の目標を達成するためにPDCAサイクルを実施していますが、今年度は、次の点を改訂することとしました。

なお、益子町まち・ひと・しごと創生総合戦略についても同様に改定を行います。

また、年度表記については、「平成31 (H31)」を「令和元 (R1)」、「平成32 (H32)」を「令和2 (R2)」とそれぞれ読み替えるものとします。

◆暮らし分野

1 重要業績評価指標 (KPI) について

(1) 指標の変更 P26 KPI「健康指標全国順位」(健康福祉課)

	指標
改訂前	健康指標全国順位
改訂後	健康寿命の推定値

(2) 目標値の設定 P26 KPI「健康寿命の推定値」(健康福祉課)

	区分	H27	H28	H29	H30	H31
改訂後	男性	78.5 歳 (実績値)	78.5 歳 (実績値)	79.5 歳 (実績値)	80.0 歳	80.0 歳
	女性	84.5 歳 (実績値)	84.5 歳 (実績値)	84.1 歳 (実績値)	85.0 歳	85.0 歳

①算出の根拠

平成29年度 (H28～30年度の平均) の町推定値 (男性79.5歳、女性84.1歳) からの延長を目指す。

②見直しの理由

現在の指標である「健康指標全国順位」が今後更新される見込みがないため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

2 具体的行動等の改訂について

(1) P24 自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発 (環境課)

	具体的行動
改訂前	3 ペレットストーブ、太陽熱温水器などの自然エネルギー設備機器や、LED照明設備などの省エネルギー設備機器の導入に対する補助を行います。
改訂後	3 ペレットストーブ、 <u>住宅用太陽光発電システム</u> などの自然エネルギー設備機器や、 <u>定置型蓄電池</u> などの省エネルギー設備機器の導入に対する補助を行います。

①見直しの理由

太陽熱温水器設置補助については、H29、30年度ともに実績・問合せがなかったため。また、新たな需要として、定置型蓄電池設置補助についての問合せが増えてきたため。

②外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

◆産業分野

1 重要業績評価指標 (KPI) について

(1) P32 KPI「担い手集積率」(農政課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	35.0%	36.0%	37.0%	38.0%	39.0%	40.0%
改訂後	36.7% (実績値)	36.9% (実績値)	38.4% (実績値)	50.5% (実績値)	51.0%	52.0%

①算出の根拠

実績値に基づく推計による。

②見直しの理由

平成 30 年度で KPI の最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

(2) P34 KPI「道の駅来場者数」(農政課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	—	15 万人	53 万人	56 万人	60 万人	64 万人
改訂後	—	33.8 万人 (実績値)	65.2 万人 (実績値)	77.7 万人 (実績値)	82 万人	87 万人

①算出の根拠

道の駅ましこの来場者の実績及び推計による。

②見直しの理由

平成 29 年度で KPI の最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

(3) P36 KPI「起業支援補助金利用件数(平成 26 年度からの累計)」(観光商工課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	5 件	8 件	11 件	14 件	20 件	23 件
改訂後	9 件 (実績値)	12 件 (実績値)	19 件 (実績値)	22 件 (実績値)	25 件	28 件

①算出の根拠

毎年 3 件ずつ伸びると見込む。

②見直しの理由

令和元年度で KPI の最終目標値を達成する見込みのため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

(4) P36 KPI「空き店舗利用件数（累計）」（観光商工課）

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	1 件	2 件	3 件	4 件	5 件	6 件
改訂後	4 件 (実績値)	5 件 (実績値)	5 件 (実績値)	6 件 (実績値)	7 件	8 件

①算出の根拠

毎年1件ずつ伸びると見込む。

②見直しの理由

平成30年度でKPIの最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

(5) P40 KPI「観光客入込数」（観光商工課）

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	186 万人	200 万人	220 万人	230 万人	240 万人	250 万人
改訂後	196.4 万人 (実績値)	213.7 万人 (実績値)	257.9 万人 (実績値)	275.3 万人 (実績値)	285 万人	295 万人

①算出の根拠

毎年10万人ずつ伸びると見込む。

②見直しの理由

平成29年度でKPIの最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

(6) P40 KPI「観光客宿泊者数」（観光商工課）

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	18,000 人	21,000 人	24,000 人	26,000 人	28,000 人	30,000 人
改訂後	21,337 人 (実績値)	36,798 人 (実績値)	47,110 人 (実績値)	47,515 人 (実績値)	49,000 人	50,000 人

①算出の根拠

毎年1,000人ずつ伸びると見込む。

②見直しの理由

平成28年度でKPIの最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

(7) P42 KPI「外国人観光客宿泊者数」(観光商工課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	350 人	400 人	450 人	500 人	600 人	700 人
改訂後	643 人 (実績値)	722 人 (実績値)	960 人 (実績値)	1,157 人 (実績値)	1,200 人	1,250 人

①算出の根拠

毎年 50 人ずつ伸びると見込む。

②見直しの理由

平成 28 年度で KPI の最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

2 具体的行動等の改訂について

(1) P34 地域農産物の販路開拓 (農政課)

	具体的行動
改訂前	3 道の駅を拠点に、益子産のそば、小麦を使用した商品開発を行い、生産者から消費者まで顔の見える食のつながりを推進します。
改訂後	3 道の駅を拠点に、益子産の <u>果樹</u> 、小麦を使用した商品開発を行い、生産者から消費者まで顔の見える食のつながりを推進します。

①見直しの理由

町内産の果樹を利用した新たな商品の開発を行うため。

②外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

◆人財分野

1 重要業績評価指標 (KPI) について

(1) P52 KPI「遊びの達人の登録者数」(生涯学習課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	—	2 人	5 人	10 人	15 人	20 人
改訂後	—	2 人 (実績値)	8 人 (実績値)	18 人 (実績値)	20 人	25 人

①算出の根拠

実績値に基づく推計による。

②見直しの理由

令和元年度で KPI の最終目標値を達成する見込みであるため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

◆資産形成分野

1 重要業績評価指標 (KPI) について

(1) P56 KPI「ましこ検定の受検者数」(生涯学習課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	—	40人	60人	80人	100人	100人
改訂後	—	43人 (実績値)	22人 (実績値)	197人 (実績値)	170人	170人

①算出の根拠

実績値に基づく推計による。

②見直しの理由

平成30年度に新たに中学校での受検機会を設けたことで中学生の受検者数が増加し、KPIの最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。

◆経営体分野

1 重要業績評価指標 (KPI) について

(1) P63 KPI「財産収入」(企画課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改訂前	850万円	850万円	900万円	950万円	1,000万円	1,000万円
改訂後	—	1,692万円 (実績値)	6,432万円 (実績値)	2,201万円 (実績値)	2,000万円	2,100万円

①算出の根拠

道の駅ましこの来場者の推計にあわせ、道の駅施設に係る賃借料を見直した。

②見直しの理由

平成28年度から3年間継続してKPIの最終目標値を達成したため。

③外部検証委員からの意見等

・改訂について異論なし。